京城日報

總督府 精錡 京城本町二 貴生堂藥品店

司法制度調査會は 愈よ十二日から
議長は米國代表で
日本の立場は比較的に自由

【本社北京特電】司法制度調査委員會は準備の遲延でのびのびになり一時は無期延期の外はあるまいと傳へられてゐたが、列國委員が九日日本公使館に集合し、日置全權以下協議の結果十二日午前十一時より居仁堂で開會式を擧行することに決定した、當日だけの議長には王寵惠を推し、翌日に名譽會長として司法總長を推すはずである、開會式は全然儀式だけに止まり公開されるが司法總長の歡迎演說の跡に對し日置全權が列國を代表して答辭を述べた後、議長を選擧すべく、米國代表ストローン氏が當選することになつてゐる、米國はこの際中立的立場に立つであらうとみられてゐるが、日本は比較的自由の立場にあつて臨むのである、なほ議事規則日程等は次ぎの會議で決定するはずである（九日發）

今から解散の 心配は無用
加藤首相車中談

【東京電報】休會明を控へて靜養のため九日午後大磯別邸に赴いた加藤首相は車中左の如く語つた

世間では今期議會の解散をひどくやきもきして居るがこれは問題に直面して始めて決すべきことであると思ふ、又政友本黨と政府が妥協して解散を避ける密約が成立したかのごとくに傳へられるが本黨は政策本位により適進すると聲明して居るから世間の推測通りにも行くまい、本黨も遂に分裂したが早晩斯くなるべき性質のものであつた一方同交會側は今後の入黨者に就き可成り虫の良い測定をして居るが案外の結果に終ることであらう、勿論本部側もこれを大ひに憂慮して最近では餘程強がりを言ひ出したこれは單なる對內策かも知れぬが勢ひの激する所は同時に對外策とならぬとも限らぬ、政府としても百六十餘名の與黨を以つて議會に臨むのであるから相當の覺悟はある對支外交問題も議會の論議となるかも知れぬが政府としてはこれを失敗外交とは思はぬ貴族院方面も先無事に濟むことと信じて居る

政本合同に未練を殘して
大木、水野氏らの四人組が同交會員と懇談

田中總裁を 議員に推薦
識見力量ありとて
協同會幹部の意嚮

【東京電報】田中總裁を勅選議員として議席を有せしめやうとの企圖に關し協同會幹部は賛成不賛成の二派に分れ反對派は極力妨害しようと運動中であるが、結局協同會は政黨を有して活動すべきにあらず識見力量ある人物は公正なるより推薦すべしとの意嚮に歸するものが多數であり、一面においては反政府派に占められる現狀に鑑みて選擧のあかつきは男を公正會に加盟せしめず無所屬又は研究會に入らしむる事として推薦の發成に至るべしと見られてゐる

貴族院の雲行を 十分に警戒
政府も內心憂ふる
公正會の反政府的態度

【東京電報】協同會が男爵議員補缺選擧に田中政友會總裁を推薦せんとしつゝある際につき政府側は同推薦については藤原男、阪谷男が相當熱心に運動してゐる模樣であるから或は實現するやも知れないが、從來研究會と特別の關係にあつた公正會が反對黨たる政友會の總裁を推薦するに至つた事は政府黨たる公正會並に貴族院各派と各政黨との關係に重大な變化を來すべしと見るものあるについて左程この結果を重大視してゐない、よし田中男が公正會に入つたからとて公正會が從來の是々非々主義を放棄して殊更に反對する事はなかるべく貴族院全體の空氣に何程の力もおよぼし得まいとしてゐるかくの如く政府は表面本問題を極めて手輕く取扱はうとしてゐるが內心においてはこの公正會の公然たる反政府的態度につき頗る不快とし貴族院今後の雲行きを充分警戒して居る模樣である

討論者決定
本黨總務會

【東京電報】政友本黨は九日午後二時より本部に院內外總務會を開き休會明議會劈頭の國務大臣の施政方針演說其他議會の重要問題に對する討論者の割振れを決定し來る十六、七日頃更に討論者と院內外總務との會合をなし質問討論の內容等打合す事とし三時散會した

段の下野を 引き止める
十五省駐京代表と 國民會議代表が會見して

【本社北京特電】直隸、河南、湖北、湖南等十五省の駐京代表は九日段祺瑞と會見し、執政の胸中は各省軍民長官の容喙を許さぬが下野に就ては未だ皆に考慮の餘裕を與へてのち決せられたいと懇情した、國民會議代表等もこれと相前後して執政を訪ひ下野決定の撤回を懇願した（九日發）

時局展開 協議か
意味ありげな 後藤系の會合

【東京電報】後藤新平、阪谷芳郎、倉知鐵吉、松本烝治、井上準之助、永田秀次郎、藤村義朗、鶴見祐輔、池田宏、中村是公、松本幹一郎、水野錬太郎等の諸氏は九日午後六時より築地に會合し新年宴會を催し十時散會した右會合は單なる宴會に過ぎないといふてゐるがその顏觸れから押すと時局展開に關する基礎的協議とも見られる、その結果として石塚英藏氏はまづ政友本黨の眞意をたしかむる爲に近く床次總裁を訪問するはずであるから今後この種の會合が續行さるゝにおいてはあるひは今期議會中に後藤氏を中心とする反政府運動が起こつてくるかも知れぬ

樞府の意見通り 修正が廿數ケ所
更めて政府より提出する
普選施行勅令案

【東京電報】政府と樞密院との間に再三交渉を重ねられつゝある普選施行勅令案の修正問題は政府の大讓歩を以て一旦これを撤回提出をなし樞密院では來る十三日頃更めて同諮詢案を開き可決の上本會議に上程する事となつたが今回樞密院審查委員會の意見により修正をなしたる點は字句の修正並に各條文の重複箇所を削除せるものなどを整理したもので二十數ケ所にわたつてゐるがその內主要なるものは左の通りである

點字投票は盲人に限る事

不在投票に依る船舶の噸數を二十噸又は二百石未滿を除く事、特別投票管理者としての船長に關する罰則は削除する事

遞相町田總務會見

【東京電報】安達遞相は九日午後一時政友本黨本部において町田總務と會見し政友本黨の情勢等を中心に時局に政策問題につき意見の交換を試みる處があつた

江原道廳移轉引止に 躍起となる
交通機關の完備をも期して 春川面民大會を開く
知事は騷ぐ必要なしと語る

【向江特派員春天電話】江原道廳移轉問題は道評議會において江原道廳を鐵原に移轉する決議を採擇してからといふものは道廳の所在地によつて立つてゐる春川は全く意氣せう沈し、戰々兢々しつゝあつた家屋建築物の工事を見合せるといふ狀態であつて、これが爲に七千の春川面民等は

極度の不安

に襲はれてをり面民はこれが對策として飽までも右決議に反對すると同時に、春川存在の將來における禍根を防止する目的をもつて十日午後一時より春川邑內において面民大會を開いた。會場には定刻前より大會の氣分を漲らせ一萬餘の人數に上る。大會における演說要旨は道廳移轉引止を力說すると共に交通機關完全の促進を諮るべく積極的に

運動を

起こす、といふのである、かくて熱狂した市民は開會前より會場にみち溢れ殺氣だつて來た、この日春川邑內の住民はさきに晉州における故智にたらひ大會に誠意を表する意味で全部門戶を閉し會場に參集した、

本問題に就て杉江原道知事は語る

『道評議會で可決された所でそれが直ちに効力を生ずる譯でもないのだから徒らに騷ぎたてる必要はない、かりにまだこの問題が實現されるにしても現在の春川はこのまゝの狀態で今後十年は大丈夫である、しかし春川の第一缺陷は

交通不便の

點であるが道路に於てもかねて十分に盡力してある、例へば京城春川間、金化春川間、春川原州、忠州間、春川、五里津、元山、五里津、浦項に至る交通機關完備速成の爲め多大の努力を拂つてゐるやうなものであると

なほ當日の春川郡民大會決議文は次ぎの如し

一、京城春川間鐵道敷設急速實現を期す

二、吾人は江原道行政執行機關たる道廳所在地は春川を最適地と認むるを以て之が聲明を當局に要望す

三、郡民は各自相戒め民風の作興と地方の發展とに努力すること

天圖鐵の 滯貨一掃
會社に二萬 圓融通して

【清津特電】天圖鐵道滯貨問題に關し天圖輕便鐵道株式會社ではこの際ともかく二萬圓の融通をうければ貨車三十八輛を增發し毎日三百五十屯（二百五十袋）を輸送して滯貨を一掃すべしとの申し出であり、九日朝より間島代表當業者等北鮮地域に會合し協議の上兎も角右は間島より運送貨物輸ひの形式にて二萬圓を融通する事として散會した、九日清津側より平田、宮本、宇野木一行間島に乘込み龍井側當業者と懇合して天圖鐵道側に正式交渉を開始する事となつた、この問題につき天圖鐵道飯田氏が冷淡すぎるとの非難の聲が高い

馮の辭職 許可と 後任
許總理漸く 閣議に出席

【本社北京特電】九日の閣議で馮玉祥の辭職を許し陸軍總長の後任を北京防衛總司令に任じ、北京防衛總司令は綏遠都統に、李鳴鐘を任命することになり、トイツ病院に身をくらました許總理は全閣員の勸告で閣議に出席した（九日發）

新規港灣修築費が 約九百萬圓
今年から着手する
國庫支辨のものが五港

本年の新規港灣修築事業は國費をもつて支辨するものだけで群山、雄基、多獅島、木浦、鎭南浦の五港におよび、いづれも二ケ年乃至六ケ年計畫の下に約九百萬圓の豫算が計上せらるゝに至つた。なほこの外從來工事中のものに城北港、雄港があるが、本年からあらたに計畫を一新して修築に着手することとなつたので結局工事に從事するものは六港にわたりしかも全鮮各地におよんで居るので、相當に多額は各地に撒布せらるゝことになつて居るが、いまこの港灣修築の大體の計畫を摘くれば左の如くである。

雄基港 面積五萬三千坪の繫船溜を設くるため防波堤三百間を築造、荷船溜の周圍に物揚場築場其の他の陸上設備を施行。

多獅島港 小多獅島に約六千八百坪の埋立を行ひ貨物を集積すべき土地及荷揚場を設備

鎭南浦港 約一萬五千坪の埋立を行ひ鐵道の引込並石炭積込特設機構を設備

木浦港 二ケ所に合計千五百坪の埋立及浮棧橋三基を架設し荷役の便に供す。

群山港 約一萬二千六百坪の埋築を行ひ護岸三百間及物揚場百八十間を築造する外三ケ所に浮棧橋を設け二千噸級の汽船二隻を繫留し得るの設備を行ひ、鐵道の引込其の他の陸上設備を爲し、併せて港內水深維持の爲對岸に延長二百間の制水堤を設備すること。

以上の外城北港は北鮮唯一の設備として現在工事中の外更に防波堤三百五十間の追加をなすと共に船車連絡設備として幅四十間長さ百二十間の埠頭一基を設けなほ石炭積込特設機構を設備することに計畫の變更を行はれたものである。

對山録

中樞院は政界を晴れ〳〵させなくてはならぬと力む。その人を取らず、その罰を取る。◇

協同會から議員に田中總裁を推薦するのは政見ではなく識見からだそうだ。チサチだつてかまやせぬのに。◇

加藤首相の解散に關する所見『風は風の神が吹かせるのではない、氣壓の關係で自然に吹く』天氣豫報なんてできるものか。◇

日本案の二分五厘は否決され五分案に讓歩したと。對支外交もほめてばかりはをられぬ。◇

モラトリアム案もどうやら怪しき雲行きだ。若槻氏は面目にかけても實現を期すべきである

七曜の劍 (百四十八)
渡邊默禪作

鷲月尼はお靜を無理に花牽縛と差向ひに坐らせて置いて、自分は火鉢の横に席をとりながら、

『旦那さま。先程は失禮いたしました。御新造さまにお話し申しましたところが、兎に角お目にかゝりませうといふことでございましたから、こちらへお通申しました。この家は至つて陰氣で人氣も薄うございますし、ちやうどお客一人參つてゐない樣子ですから、御內談を遊ばすには至極よろしうございます。さ、何なりともお話しなさいませ』

と、水を向けた。お靜はちよつと目禮したゞけ、すぐと差うつ向いて口をきかなかつた。すると、鱗九郎は飲みさしの猪口をぐつと傾けて、むつとりなづいてから、

『お靜どの。おぬしは何もかもこの尼さんに打あけられたさうぢやのう。と、すれば、蔭にきぬきせてまはり遠いことをいふにもおよばんから、身共は卒直に心に思つたまゝを申すが、どうぢや。まだ身共になびいてくれる料けんにはなれないか』

お靜はしづかに顏をもたげた。

『おはもじさまでございました。私の心がゆるしませぬ』

取つて投げるやうなそつ氣ない返辭を鱗九郎はにこりと受けて、

『ゆるすもゆるさぬも心の持ちかたの取り樣。ひとつそのやうにめいくら詠涙なこぎ方をして、眞一文字に進んだなら岩に突き當たつてその舟がこはれるばかりではないか何とか今のうちにかぢを取直して、安全な方へ廻つたらどんなものぢや』

『そのやうなことはできませぬ。こはれたらそれまでのことでござんす』

『と、强情にいふのも職人への操立てかと思ふと、あつぱれ貞婦とほめずには居られない。然しお靜どの。職人が存命いたしてをればこそ、立てる操の甲斐もあれ。もしもその職人がこの世にをらぬとすれば、あつたら盲に眼鏡、聾に足駄、何の供養にもならぬ無駄骨折ぢや。操を立てるよりは石塔の一つも立てゝやつた方が、遂に佛が悦ぶであらうかな』

『存じませぬ』

ツンと横を向く。

『隱れる覺悟で刑を摑切る。それもよい。したがその指をつける澁—肝心の職人が居なくなつたら刑の道理もあるまいぢやないか。

と、小鼻にせゝら笑ひ、

お靜丸といふその刑は、フヽン』

『右刑一般相濟し申し候。何卒御にてもお拾ひ取の上御自由にお取下さるべく候と、チヤンと捺印が打つてあるぞ。ハヽヽヽ』

皮肉な嘲弄。お靜はいふまゝにまかせて、わざと冷靜にじつと差俯いてゐた。が心はいかりに熱して眼の裏に涙さへ滲んで來るのであつた。

『と、いつたゞけでは腑に落ちまい。お靜どの。これに覺えがあらう』

紙入を探つて取出した手紙—

ひよいと見ると、それは疑ひもなく、きのふ自分が尼に渡したをついとあての紹介狀であつた。お靜はハッとどきついて、

『あれッ。それは……』

と、思はず膝を立て、その手紙を目がけて飛つくやうに差伸よした右の手は、パッと鱗九郎に拂はれた。鷲月尼も驚いたやうな樣子をつくろつて、目をきよとつかせながら、

『まア妙な。どうしてその書狀があなたさまのお手に……へえ—そんなはずのある譯のものぢやございませんのですがねえ。怪體なこともあればあるもんで……』

『ど、ど、どういふ……』

『どうと申して空から降る譯もなし、地から湧く道理もない。此の手に入るべく筋があつて手に入つたのぢや。見ろ、そら、この通り。封筒の半分ばかり血染になつてゐる。さ、この血は誰の身うちから流した血ぢやと思ふ。お靜どのも尼も驚くまいぞ。いやきられもしたり、突かれもしたり、大小十七ケ所の重傷淺手、さながら袈裟の目、見るも無慘な殺され方を、したその死人の懷中からひよつこりと現れ出たのがこの手紙ぢや』

本一四頁

石版・活版 諸版印刷 大邱 慶北印刷合資會社 大和町 電話三一六番 振替京城一〇九七番

大田名物 リンゴカステラ 忠南大田 中田堂

天下ノ絶景金剛山 金剛しるこ 松ノ實入

嶄新なる御服裝 紳士服 婦人服 子供服 スタイルは パタリツク ミニスター 多ノ部 十二月號 平壤大和町ミカド停留所前 太田屋洋服店 電話五八 振替五四二

高級京染 志ぎら屋 新柄見本著品

小兒科 醫學博士 吉田得次 吉田醫院 漢江通十一番地 電話龍山四四八番 診察 自午前九時至午後二時

金儲（小資本） 素人で努力したい方百円でも儲かる 丸八商會 名古屋市中區長者町

緩下劑 ラキサトール

ラキサトールは其だ緩和なる作用を有するを以て特徴とし服用後六時間乃至十時間にして軟便を排出す、而して頗る少量にて奏効すると無味無臭なるが故に婦人小兒等に於ても嫌忌せず服用するを得べし、又腸に刺戟を與へざるを以て腹痛、疝痛、裡急後重等の副作用なく、過敏性の患者にも無痛の下痢を起さしめ且つ習慣性を來さゞるの點に於て常習性便秘者に應用して理想的藥劑と云ふも誇稱に非ざるべし

包裝及價格

粉末	一〇瓦入	.九〇
	二五瓦入	二.二〇
	一〇〇瓦入	七.八〇
	四五〇瓦入	三一.〇〇
錠劑	一〇錠入	.四〇
	五〇錠入	一.五〇
	一〇〇錠入	二.五〇

說明書文獻進呈 全國知名藥店にあり

發賣元 大阪道修町 株式會社 鹽野義商店 東京出張所 日本橋區大傳馬町一丁目

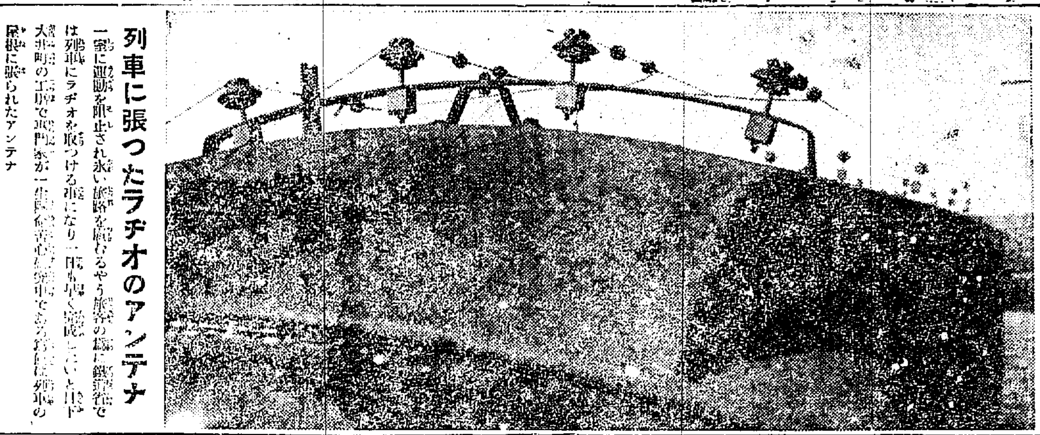
閣長の妻 姿を消す
航海中投身 自殺したか

【淸津特電】吉林東省下局子衛隊營長栗作氏夫人栗氏（二二）は八日朝淸津入港の連絡船敦賀丸にて上陸の際夫人の姿が見えず船內隈なく捜索せるも見當らず多分元山よりの途中投身せるものならんとて目下極力捜索中である

跡見女史危篤

【東京電報】病臥中の跡見花蹊刀自は昨今の寒さに容態急變し九日夜十一時全く絕望となつて親族に包まれてゐた

列車に張つたラヂオのアンテナ



一室に運動を阻止され永い旅路を慰むるやう旅客の爲に鐵道省では列車にラヂオを取つける事になり[illegible]大井町の工場で専門家が一生懸命に研究中である寫眞は列車の屋根に張られたアンテナ

照宮御參內
寒氣殊の外嚴しく 御延期遊さる

【東京電報】新宮成子內親王殿下の初めの御參內で皇靈殿に謁するの御儀は來る廿四日即ち御降誕五十日をもつて行はれる御豫定であつたが最近寒氣殊の外嚴しきため侍醫寮では外氣に御觸れになつて御障りでもあらせられては恐懼に堪へぬとの議が起り二月下旬まで御延期遊ばされる事になつた

兩陛下に御報告

【東京電報】[illegible]兩陛下の[illegible]成長は極めて順調にわたらせらるゝ旨宮內省から發表ある筈である

基教青年會『社交の夕』

太平通りキリスト教青年會館では九日夜六時半から男女會員多數同館に集合、新年會をかね『社交の夕べ』を催したが百人一首、トランプ、ピンポン、闘球盤、その他いろいろで夜ふけるのを忘れ、十一時過ぎ盛會裡に終つた。

松村氏講演
十五日基教青年會で

歐米視察をへ歸朝した總督府外事課長松村松盛氏は來る十五日午後四時半から太平通キリスト教青年會館において『歐米を觀察して』と題する講演を試みる由來聽歡迎

六百萬圓を脫稅す
通關業者と共謀し課稅率を引上げて其差金を着服す
神戸稅關疑獄

【大阪電報】神戸稅關疑獄事件は九日[illegible]十名となつた[illegible]通關業者と官吏と共謀して稅金一萬圓を一萬五千圓と[illegible]一圓五十錢から三千圓で事件は[illegible]の陰謀である

栃木山の斷髮式
大髻をぶつつりと

【東京電報】剛力無雙あつぱれ天下の名力士とうたはれた栃木山も九日を名ごりに思ひ出で多い大たぶさを切つて了つた斷髮式は午後一時から出羽海部屋で秋元子爵の手で鋏が入れられたが彼の引退は今更ながら好角家の愛着の念を深くしてゐる

久津目[illegible]逝去

帝國通信社總務長久保田次郎吉氏は鵠沼松原の別莊に入り治療中の所八日午前五時逝去した享年四十六才氏は帝國通信社創立以來二十餘年間奉職した

寄附金が集らず 責任自殺す
天理教祖四十年祭を前に 分教會長が申譯に

【德島電報】天理教教祖四十年祭は來る十五日奈良縣丹波市の本部で催さるゝがこの祭典を前に大なる悲劇が起こつた。それは[illegible]長尾[illegible]が九日午前一時[illegible]自宅附近の井戸で縊死したのであるが祭典は莫大な費用を要し各教會に割當て同人は本部に對し大祭費用として六百圓を集める事になつてゐたが三百圓しか集らず本部よりは矢の如く督促されてゐたもので[illegible]る爲に自殺したもので遺書きには死んで教祖に申譯する意味を認めてあつた

連絡て船頓死

【釜山電報】全北生まれ當時[illegible]市外居住の[illegible]は[illegible]を來たしたため關釜連絡[illegible]の途中[illegible]丸で死亡したので死體は取敢ず府に引渡された

寄附金[illegible]

北南　二七八　四四

即ち　無許可勞働者の[illegible]人および被募集人數は二千八百五十名中男二千五百三十三名女三百十七名被阻止者合計九百廿四名中男八百九十四名女三十名で總計において三千七百七十四名男三千四百廿七名女三百四十七名でこれ等の者が再び原籍地に送還さるゝため[illegible]旅費の損失を受けた總額は數萬圓の巨額に達してゐる因に表中阻止理由は就職口不確實、國語不解、所持金少額の三項で所持金は一圓未滿を標準としてゐる

一圓の貸金を催促して殺さる

【釜山電報】慶南[illegible]郡[illegible]德文（三）は去る四日夜同村の[illegible]を[illegible]と居村の[illegible]食[illegible]玉方で飮酒中口論をはじめ大立廻りのあげく[illegible]は梁のきんたまを目かけてしたゝか[illegible]飛ばしたので[illegible]はその場にこん倒したまゝ遂に[illegible]生するに至らなかつた加害者[illegible]は目下取調べ中だが梁は黃に一圓の借金あるを[illegible]中催促したのが[illegible]因である

に軍事講演をなした、又[illegible]兵分隊ではこの日[illegible]內演武場で本年度の武道始め式を擧げ引續き演武大會を催し[illegible]分隊長の講評があつた

十字街頭に危難を救ふ
彼等の手は機械のごとく一瞬でも休息を許されぬ 交通巡査の尊い努力

あの町——この町 【四十】

輛がなければ間にあはぬ——いや出勤時間がおくれた——道ゆく人々のうはづつた足どり、めまぐるしい自動車のゆきかひ、悠々一町にわたる牛車の行列、自轉車、人力車等々と、新の年の活動ははじまつてわきかへる都會相をまともに受けて街上の急流に立つ最もいそがしい人を求める。それは何といつても交通巡査だ、交通道德の

◇—公平を 現すバロメーターとして彼等の眼玉は八方にらみ、みどりの腕章をまいた彼の手は巧妙な機械のごとく敏妙な判斷をつゞけて一瞬でもからだを休める隙がない。さうした全身の末梢神經までがをどり出す彼らの活動こそ最もいそがしいものでなければならぬ。いま京城府內には本町署十九名、鍾路署六名、東大門署二名、西大門署二名の廿九名の交通整理にあたる巡査がある、ことに京城の親知らずといはれる黃金町一丁目の

◇—十字街 に立つて交通整理をする巡査の話をきく。こゝには三人の交通巡査が一丁目の交番に詰きつてこの頭のやうな

[illegible]十余度の[illegible]の朝も土砂降りの日の夜も必ず一時間交代で[illegible]についてゐるのであるから他の巡査に比して四日のうち三日勤務だそうだ、そこで「あなた方の眼に映つた市頭の民衆は？」と聞けば「もつと民衆諸君がわれくの仕事を理解して貰ひたいですな」と異口同音である。しかも、それは

◇—一樣に 廿九名の交通巡査諸君の惱みそのものなのである。「一體たしいのになるとわたしが街頭に立つて勤務中電車をふつかけて來るものさへあります、けれ共相手になつてをられないから默つてこらへてゐるのです「若いくといつてゐるのが、ストップの信號をかけても止らないものがあります、これには一番閉口します、それから線路に立ちあそこから自動車右から電車後から自轉車といつた風に前後左右から攻められる時は何もわからなくなつて

◇—冷汗を かく時が一日幾たびもあります」と一人が言ひ終ると『わたしが困るのは自轉車です、人を跳飛して逃げるのを待てと追ひかけた時はもう餘裕の節に逃げてゆくのですから、それから自轉車の提灯は殆ど形式で腰にさげたりして何の役にも立ちません』といふのがあり『いや僕は道路が惡いとおもふね、道路面が凸狀になつてこのごろすべるものが多いばかりか、電車線路が片側にあるため「行け、止れ」の信號にむ[illegible]がおこるのです』と巡査諸君の苦情はつきない丁度そこへ交代時間が來て

◇—一時間 勤務を終つた巡査が入つてくる『御苦勞さん』『いやお願ひします』と堅い握手がかはされてゐるわけでも彼等の手にあへぬのは路上スケート、野球等小供の道遊びだそうだとの世智からい世の中に、この[illegible]風に[illegible]下十數度の大寒の下に[illegible]延整理の爲に身命をなげうつて、ひたすら努力を續けてゐる交通巡査諸君のためにもわたくしたちはお互ひに交通道德を守つて行きたく思ふこれがせめて交通整理にあたる諸君にむくゆる市民の唯一の道である。（寫眞は十字街頭に立つ交通巡査）

內地を志す三千の勞働者
約一千名は釜山で喰止 渡航阻止の三理由

【釜山電話】[illegible]鮮人勞働者の渡航許可者[illegible]を實施してゐるが右は鮮人勞働者の保護が主眼であつて單純なる渡航者阻止といふのでなく結果においては極めて[illegible]

良好なる成績

をあげ內鮮の職業紹介も好成績を以て迎へてゐる、しかして昨年實施以來の成績をみるに左の如くである

道別	應募者	就職者
京畿	八七	一五
忠北	一五〇	四二
忠南	一四四	四八
全北	一五四	四一
全南	二一一	七四
慶北	八二四	二六
慶南	一、一六五	四〇五
江原	一五	八
黃海	三二	七
平南	三九	一二

全國職業婦人聯盟
紀元節に大阪に開催

【大阪電報】[illegible]職業婦人の聯盟組織を記念するため全國職業婦人聯盟を組織しに關し婦人ホームや大阪市婦人職業紹介所等から準備委員が出て[illegible]

中學生が教諭の妻と通ず
鐵拳制裁を加へ 妻を離緣、辭職す

【岡山電話】岡山縣立一中教諭[illegible]は同校四年生[illegible]に[illegible]十九[illegible]年に[illegible]

あすの藏開き

明十一日は藏開きといつて商人にとつて元旦につぐ大切な年中行事の一つである、藏開きは家々によつて慣例はあるが年始に神棚に供へた鏡もちをわつて雜煮をといはへ家族が打ち集うて三ヶ日の如く屠蘇を祝ふので、この日だけはお客を嫌ふ例となつてゐる近頃は昔ほどこの日をかたく守らないが、年改まつてはじめて藏を開き金銀や穀物を取扱ふといふて商家には福運を開拓する日である

觀兵式中止
新義州守備隊

【新義州】新義州守備隊では八日の陸軍始めに觀兵式擧行のはずなりしも龍山師團から未だ初年兵未到着なる爲人員の關係からこれを見合せ當日午前十時營庭において遙拜式を行ひ後井之上隊長は一同に訓示[illegible]

滿洲派遣の小倉部隊かへる
山砲、騎兵三百餘名 明十一日內地に歸還

【釜山支局特電】我滿洲派遣守備隊の一部小倉の山砲百七十名同騎兵百卅名總員三百名は池田騎兵大尉引率の下に十日午前八時五十分釜山に到着同夜は府內各旅館に分宿の上翌十一日午後二時釜山出帆の御用船京都丸で歸還の途につく豫定であるが、一行の意氣は極めて旺盛である、因に右部隊には馬匹四百三頭を含んでゐる

船舶四隻行方不明
延平沖で暴風

【仁川電話】登津郡蘇江全京漁業組合の船舶は客年十二月廿一日同村權昌燮所有の船舶四百石および大豆五百叺を木船に積載し仁川へ航行中二十三日延平島沖にて暴風にあひ船舶共消息なく[illegible]のみは附近のチャル島に漂着[illegible]救助されて七日夜便船により仁川に到着したが他の乘組員は恐らく生存して居まいと、因に損害額は五千五百余圓の見込。

安東氷上大會
來る十七日擧行

【安東縣電話】寒國にのみ惠まれたるスケートの好シーズンに入り殊に全日本選手權スケート大會開催の地元たる安東では今年は更に人氣を加へ選手の意氣亦昂り各リングでは大小の選手達が寒天に熱汗を絞りつゝ猛練習を續けて居るが來る十七日（日曜）には午前十時から鴨綠江鐵橋上手に於て全安東の選手を決定する筈であると云ふが其のプログラムは

▲男子部、前進五百米、同千五百米、同五千米、同一萬米、背進五百米、▲女子部前進五百米、同千五百米▲學生競技、各種▲聯盟リレー二千米、アイス、ホッケー

妻ゆゑの窃み

【仁川電話】[illegible]仁川府花町一の七四金[illegible]は奧田精米に[illegible]が妻の手前[illegible]の[illegible]を見せたくないばつかりに同所の白米一石[illegible]を前後十二回にわたつて四、五升づゝ盜み出してゐたこと發覺、九日檢事局送りとなつた

家の嫁には斯ういふ娘を 家の娘には斯ういふ婿を

この家庭の重大問題は理想的に愉快に解決せられました婦人倶樂部新年號の記事を御覽なさい！！

偉くなる少年

出世の礎！立身の基！身の知識！日本一面白い！偉になる！少年倶樂部新年號は到る處大歡迎！賣切れぬ中に早く！

釜山の小火

【釜山電報】釜山府佐川町五九五番[illegible]價仲 五九 方から九日午後三時五十分出火急報により消防隊駆けつけ鎮火に努めたため同家を半燒で濟んだ損害二十圓原因は溫突の焚口不始末から

映畫劇大會（大正館）

九日から蒲田特作小唄映畫柳さくら子主演「[illegible]中小唄」六卷外村吉藏氏原作小澤得治監督五月、柳、三村共演「剃刀」六卷野村芳亭監督、五月、栗島、川田、岩田、諸口、高尾オールスターキャスト「母」十卷

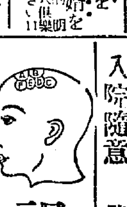
サクラ正宗

新年の御用意に 品質第一流の酒

宮內省御用達 山邑酒造株式會社

特科 腎臟病科
內科 小兒科
入院隨意
[illegible]門醫院
院長 柳沼省吾
京城府南大門通三丁目 電話本局三八一七番

記憶の素



愚腦を優腦に改造
頭腦を良くする法

[illegible]

何年か再發に苦しむ 神經痛リウマチ せんき腰足の痛

▼針や灸溫泉つけ藥で治らぬ人
▼のんで三十分で効力現はる
▼十人か十人性に合つて喜ぶ

永々あれこれと迷つてコヂレた慢性神經痛リウマチス筋肉リウマチス及び神經痛にて、腰や背、せんき、手足ふしくの節痛、頭痛、顏はら、肋間、等の痛み、はれ、しびれ、ひきつりは、一時押への湯や針や灸つけ藥では肝心の病根まで屆かぬからナカく治らぬ今發表するは獨人ドクトル、ヒ氏ア氏、兩先生實驗と南洋秘密の天生物を加味せるもので、のんで僅か三十分で、病根の中樞神經へ透解作用を與へ、速やかに痛みもズキ治り、多數の神狀と全治者を有し、名家の御用も

錢代金引換は送料必ず前送のこと 東京本郷區菊坂町五十六番地 河合景作 河合洋行主 振替東京六一一八二 電話小石川六八三五

京城府嵯峨洞二一七 竹內洋行藥品部
釜山府辨天町四丁目五六 手島文士

普通病室 特等病室
院長 ドクトル メヂチーネ 佐藤小五郎
佐藤病院

金牌受領

本椿香油
本舗 大阪西區靱中通一 三宅堂

淺田飴

本舗 東京 大阪 堀內伊太郎

たんせき
よはき人
聲を使ふ人
肺病の持藥として
病後衰弱者の滋養劑として
殊に老人小兒に最も用ゐるよし

ブラジル大使を
【東京電報】ブラジル大使の不[illegible]は[illegible]して國民的示威運動の[illegible]に[illegible]してゐる

前獨帝のフィルム
帝カイゼルをモデルとしたフィルム[illegible]英國において撮影を禁止された[illegible]は[illegible]館內に[illegible]して[illegible]

拳銃強盜
【ケープタウン八日發電】イギリス[illegible]

日曜文壇

劍花坊の色紙

難波專太郎

わたしは先だつて、「子供や子供のおかあさん達におなじみの深い童話作家の吉田さんに、劍花坊の色紙を貰つた。吉田さんが「別に珍しいといふでもないがお目にかけませう」といつてだされた時にわたしは鋭く胸に響くものあるを感じた。何に感じたかは一寸つかみにくいがその句といふよりはその雰圍氣であつたらう。いやその氣品だ。一點一角にも得もいはれぬ妙味がある。氣取るでもなく、雅人韻人振るでもなく、戯れるでもなく付元氣でもなく、たゞまつぱだかである。それでゐて一點一かく氣合がみなぎつてゐる。劍花坊の全貌も融くはないがどこかたよりない不安がある。あらゆる浮き世の艱苦と戰つたあげく、はたかになつたものには、ゆるし難いふんばりとそして氣骨風みんがある。浮いた油氣がなくて、既に澄む沈思と鍛い剛情とがある。更に苦鬪に打勝得た處から、その自覺からのみ生れ出づる處の見識がある。これらのものが合致一致して私の心をひいたと思はれる。兎に角私は是非いたゞきたいと頼んで貰つたのであつた。

◇　◇

劍花坊といふ人はどういふ人であるか、川柳の方の大家である事は知つてゐるが、それ以外の消息については、何も私は知らない。一度も會した事とてはなし、作品なら新聞や雜誌に始終出てゐるであらうやうに思はれるが、その寫眞も見たことがない。それゆゑどんな風貌の人かも分らないが、然し、そんな事はどうであらうとも、詮索する必要を今少しも感じない。たゞ、一點一劃の線條に躍む時的リズムと暗示とが融合ふことなく紙面にかなでられてゐるのを窺ふのである。死線をこえ得た處から自とそなはる高踏的な氣品を感しむのである。更に、これらを綜合して、一口に、然もありふれた言葉でいふならば、からだぐるみ詩化されたる一詩人が紙面の上に立つてゐるから面白いのである。どんなものでも客觀的に眺める時そこに美が生ずる。今更いふまでもないが、藝術家とは種々の風物を客觀的な形に擬て見せるものである。客觀化することの出來ぬ人が藝術家とは決していはれない。

◇　◇

河向ふの火事は面白いと世間の人がいふ。然し火中に飛び込めば苦しいに相違ない。更に種々の道具を一つびとつ、財布の中の無理を苦しみながら買集めて、今、無

渦闘に燒かれつゝあるその主人の身にとつては、實話に絕しての苦しみであらう。

見てゐる者には、「あんなに手際よく出來たらどんなに面白からう」と思はれる程の能筆達人でも、自分自身は苦しみの汗を手に握つてゐる。いや、苦しんでなければ眞の苦しみに得られない。この理を通用して、自分のなした仕事に滿足を感ずる事の度多くある人は、未だ能筆達人の域に達してゐないんだともいへるかも知れない。よしさうはいへないにしても、より以上の高上的範疇はなし得られぬ人だといふ事だけは確實である。

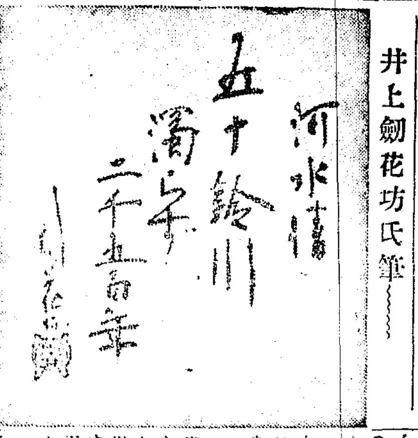
夫程苦しいならそんな圏内に入らなければいゝでないか。何も苦痛を好んで求める必要もなからう

しぼられたりして、世俗の苦痛を忘れるだけでは我慢しないで、やがて同化しようと試みる。それも離ひ難いと知つた時模倣を試みる。模倣を作らうと希求する。そこに藝術家が出來、藝術が生れる。藝術の根源は自然ありのまゝの模倣にありとは、フロウベル以後、自然主義作家によつて有あまる程きあきた。今日自然主義は、文藝上における藝術價値に乏しい一主義として、否、過去における偉人の苦闘の記錄として色ざめやうとしてゐる。

◇　◇

然逆──といつても現在十年も前ののことになるかも知れないが、何かで田中花袋が「藝術は主觀の世界には存在しないからどうあつても客觀の世界でなければ藝術は存在しないから」といつたやうな意味の事をいつて居たが、田中花袋の言葉をそのまゝは是認しないに

井上劍花坊氏筆



しても、あらゆる藝術はすべて自然主義から踏出さなければならないことは事實である。さきに千葉龜雄は新潮九月號において『あまりに大膽な總括がしばらくゆるされるであらうか、さらば自分はわが現狀文壇の大勢を概括してその主潮たるものを、自然主義乃至シウド現實主義に定着してゐると假定するであらう』とまづ筆を起こして、既成主義あるひは既成作家に飽々の不滿を抱いて起つた新しき新人もいつの間か自然主義的なる大潮流にまき込まれるのをかこち更に進んで主觀強調の文學を提唱してゐたが、わたしの考へでは主觀強調の文學とても自然主義を背景とせない限り、その發達と末永き生命とは保持されまいと思ふ。この頃あたらしく唱へられてゐる『新感覺派』だつてさうだ。藝術と自然主義との關係についても研究せなければならぬ餘地未だなほ更に殘つてゐる。

ぢやないか、から離かゝいひさうである。けれどいはゞそこが萬物の靈長たる者の靈長である。「美」に對して胸苦しいまでの感激を催すのが不思議にも靈長たるゆゑんである。更にまた、『美』そのものに同化しよう、たとへ同化とまではゆかないにしても、せめて『美』により近寄らうとする慾望を胸中に活動させるのが人間の通常である。生きてゐる限りこの慾望や感情は續く。死ぬまで根よく續く。重い石炒をかぶつて土の中に目を細くしてシヤガみまでひつこく從つて纏る。誰しも死ぬのは堪へ難いだから背水の陣だ。いゝ、しりぞけば三途の川がある。苦しくとも『美』に向つての突進は實に余儀ない。しなくともいゝ苦しみを好んで求めるのではない、せずには居られない必然の苦痛である。

◇　◇

人間は誰でも、美しい物に接した時、あゝ美しいきれいだと、おのれの心をふくよかにしたり、

◇　◇

いつの間にか劍花坊の色紙が話に吹かれて飛んでもない處に飛んで行つた。──話をもとに戻さなければならぬ。そして復劍花坊の色紙であるが、その句は

蝸牛たのみにならぬ角と家

とある。實に明るい句である。何の苦もなく轉々といひ去つた處わたし等には勿論および難い氣がして頭が下る。わたしは最後の句『角と家』とあるのを、武藏も啾家もその實たよりないものだと解釋して、しひて老莊思想に持つて行くことを好まない。余程、この句にそんな面倒な主義思想のこんたんあるものと見るのが嫌ひである。かたつむりが身分不相應に大きい角と家たげなかたちをひきずるのろいあゆみを見ての印象をそのまゝ吟じたものと考へたい。「たのみにならぬ」は平凡のやうな一面また說明に過ぎるやうな感じもなきにしもあらずであるが、別に邪魔にもならぬ。然もこの句にあたゝかい詩情が溢れてゐて有難い。

この句の「たよりにならぬ角と家」に小六ケ敷哲理思想の暗示があるなどと解釋すると藝術價値がトンとなくなつてしまふ。今日の現今無用思想が詩人の詩感を動かすもないもんだ。藝術價値が下らんは別問題として、蝸牛のあまりに不格好な角とそのから とは『たよりにならぬ角と家』一を純なる印象と思はせずには置かないのである。さうして、さう解釋する時この句に對する味はひが數倍して來るのを覺ゆる。──わたしは劍花坊のこの句に對して、自問自答こんな風に考へたのであつた

◇　◇

兎に角、私は色紙かけに丁寧に納めて、オンドルの壁にかけた。さうして、近くに寄つて見たり、遠くに離れて見たり、あちらの壁にこちらの壁にと、方々かけかへながら『無雜作に筆を投げつけてあるのだが、よくも筆端く〜に至るまでから氣合が漲れなかつたものだ』と今更に感心した。『たのみにならぬ』ノ十七文字の『た』の字といひ『の』の字といひ、さては『み』の字から『に』の字への心格の運び具合『に』の字の二つの點のチョン〜と飛ぶが如く飛ばさるが如き、呼吸の迴轉し具合といひ、詩味ひそかに美しき律動を催して、妙味津々としてつきせぬものがある。『蝸牛』と行まづ二字を置いて、韻律の深く潛めるを思はせ、『たのみに』の四字に緊める韻律は高く生じ、再び活動を初め『ならぬ』の三字にいよ〜波瀾なるをつげ、壯然たる大活動に移り、さて『角と家』と、しめた矜さは再び私をして感嘆せざるを得ざらしめ、瀰漫も遠くおよばぬあるものがある。

◇　◇

かくして、虎の子のやうに自分獨でいゝ加減に喜んだあげく『どうか?よからう!』とかぜをひいてこぼん〜いつてゐる妻にいつて見た。すると妻は『さうですなよろしゆうございます』と氣のない返事をした。心の中では『またいつもの氣のキチガイがはじまつた』といはぬばかりの返事であるそれでわたしはそれ以上何もいはなかつた。床に入つてからは、その色紙を枕もとに掛けて來て、夜のあけに立てかけて眺めながらたばこに火を點した。一本全部灰にすると立ち三本目に火を移した。さうしていつの間にか寢た。思へば樂に符號い日であつた。吉田さんに深く感謝しなければならぬ（をはり）

俳句　新年雜吟　高濱虛子選

天（賞）
餅花にたが脫捨や假だゝみ　乗二浦東面宅一二八　矢野紫燕子

地（賞）
村のもの集めてイロハかるたかな　宣川　スコット溜數女

人（賞）
お降りや迎れの木餅繭がばこそ　京城西小門町一一四　小川南枝

秀逸（十句）
○　京城　土田常山
餅花に灯早きいでゆかな　京城　松本十亭
若水や浮かせバカチも新らしく　○　大邱　久米幸哉
かるた取る掠子ためらひ開けに晃　○　鋼南　川口敬水
三千の女工揃ふて初荷哉　○　大田　西村ミネ女
石人や迎正月の供もの　○　大邱　江川三昧
初寶や城內にある日本店　○　大阪　山部みはる
元朝の汽車を待ち居る水夫哉　○　群山　西田寧枝
門松や此の門內の幾官舍　○　京城　石井李雨史
飾り込みて卽ち取るや歌かるた　○　公州　雄心
口紅のこさよ迎すさよ初鏡

佳作
○　平壤　祖翠
城內のまだ夜深きに初詣　○　大邱　三昧
初賀りの向ひ合はせし老舗かな
初賀りの人出にまじり鯛足女　○　大邱　久米幸哉
晋初や掘り太となる支那の笹
ホ句出いて朝鮮人の賀狀かな　乗二浦　紫燕子
榮の戶の雪に明けたる四日かな　○　金泉　棵骨
賀客去んで妻と倒みし火鉢かな　○　京城　柳畝
日溜りに脫ぎしマントやお元日　○　平南　赤良
元日のもの足りなさや暮れて行く　○　京城　左人
虎の皮敷いて主やお元日
李樹房が年賀に來たる國かな　○　京城　十亭
まつ毛なるどんどの灰を沸ひけり　○　京城　殿水
したゝかに降る雪もよしお元日　○　長崎市　汪公
元日も凝色漂ふ煌子かな
元朝の山おごそかに時てり　○　京城　十八
酒甕の一つ〳〵や大晦り
松の內無に大晦を挾まるゝ　○　釜山　草舵
打ちつゞく朝鮮晴や松の內
呑み蕎に夜遊ぐせや松の內

偶成戲語

江口捨次郎

戀愛小案

戀は不思議な存在である。

戀愛は不思議ならざる存在であるとも考へられる。『當りめえだ』

戀愛を念ふ時、切支丹の妙法と忍術の醉異とを通想する

又爽やかな氣分で飲つた一ぱいのコクテールと、入學試驗合格の日のやうな感想が浮んだりする。

又、隣者の投げた匙を恨めしく覗き込む時思や、高利貸と質屋と淡江の水が三つ巴になつて走馬燈のやうにぐるぐる廻つたりする場貝もぼつかり開く。

又、能取りの落し穴に陥ち込むだやうな不安や、蝮蛇に追はれてゐるやうな恐怖も想念の一隅に頭を擡げる。

又釣竿を擔いで魚でも釣るやうに綺子部らふと人込みの通りや寄席や劇場を出入りする若者や、掏摸の眼のやうに素早しこく立廻らせて知人との挨拶さえ外し勝の男が頬笑ひ。

鳥渡考へた丈でも戀はこんなにも不可思議な存在である。目まぐるしい存在である。ほんたふに樣々な凸件凹件な追想の上に平氣で立つて居られる戀は何と不思議と謂ふ言葉の外に當嵌る言葉があらふか。

戀は動物の本能である。

受け生物の本能である。

本能であるが故に戀愛は人類のみに限らずして總ての動物も戀愛を行ふが、自ら戀することを意識する者は人間のみである。

戀愛を意識する時、始めて戀は不思議な存在となる。戀愛を意識するとき戀愛のみの複雜化でなく社會の複雜化となる。

男性と女性を操縱する者が戀愛であり、雌性と雄性を結合せしむる者は戀愛でなくして生物の本能の動作である。戀愛が人間の獨占物であることが茲で始めて謂はれる謂である。

戀愛は往々若者の理想とのみなつて、殆んど具體化せざる時に戀愛の價値と品性が高められる。品物を賤しむやうに戀愛が成就し得らるゝならば何と哀れな存在であることよ。

戀愛は決して若者のみの享有ではない。戀愛の對照が娘でなく息子でない所に複雜がある。未婚男女のみでない所に悲哀がある。年齡や容貌を中心に仕ない所に戀愛の妙味があり、感興と騒音と喧鬧がある。

念へば十六億の人類の中で戀愛の言葉の下に結び付けられた二人である。その幸福を謳歌せなければならない者である。

戀愛の喜びを讚へる者である

孃素描

娘、それは、兩性を有する生物の一つの誇りである。寶びでもある。期待である。

娘、それは人間の未婚女子の謂である。

娘、その直感は下町の桃割れで、殖民地なれば裏町か。當字なれば十けなき束ねた飾りのない束髮の木綿である。角帶の娘。

彼女の娘は電話局へ勤めてゐる。山田の娘は今年女學校を出た相だ。

怎うしても娘は娘である。

娘は普通の家婦でけない。お孃さんではない。

娘。この言葉の中に令孃や御令孃や娘御から跡取り娘、運葉な口をきく娘、お轉婆娘、さては下女で、惡魔、坊（お米坊、お千代坊）まで總て娘の言葉で呼ぶことが出來るのである。が、喪裏の娘、それは令孃やド女や市魔を除いた中流から以下の婚期前の女の兒である。兒でなくてその儘の女である。

娘、娘、娘は婚期前の男性の慾念調義的である許りでなく、既に一人の配偶者を持つ男性と雖も凝い色目の胸かせ手である。また女性の總てでさへ花よと花よと讚へる。即ち女兒なれば早く成人して娘とならんことを念ひ、既に老ふる者はありし日の娘時代の幸福を念ふのである。

娘は人間の喜ひの象徵である。

娘は人間の幸福の表徵である。

娘は笑ふ。

喜びと幸福が笑ひを愛すものである。老ふる者の笑はないで濟むことも娘には笑ふことの充分な言辭なり、世辭なり、出來事となるのである。

あの人はとても剽輕で面白い人である。と聞いた印象が娘には最も大きいやうである。

このやうな理論は何處から來るか?

それは今迄は子供の所作事はよく知悉し、充分自分の手で開拓し再び、何等不思議がなかつたが、いざ子供の域を離れて大人の仲間入りを仕て見やうとすると（即ち娘に成つて見ると）世事總て面白く、不思議で笑ひたいもの許りである。のではなからうか。

何は兎もあれ、令孃でない娘に舉げる采配は輕い。

馬山銘酒釀造組合案內（イロハ順）

銘酒　大典正宗　馬山府元町　石橋釀造場　電話一七五番

銘酒　總督　馬山府仲町　井手釀造場　電話三〇番

銘酒　寒牡丹　馬山府本町　原田釀造場　電話一四〇番

銘酒　濱鶴　馬山府新町　濱田釀造場　電話二四五番

銘酒　雛林八道　馬山府榮町　西田釀造場　電話一二四番

銘酒　福鶴正宗　馬山府曙町　永武釀造場　電話三五八番

銘酒　惣富士　馬山府榮町　村崎釀造場　電話一〇六番

銘酒　松泉　馬山府通町　松井釀造場　電話六五番

銘酒　蝶々正宗　馬山府通町　五反田釀造場

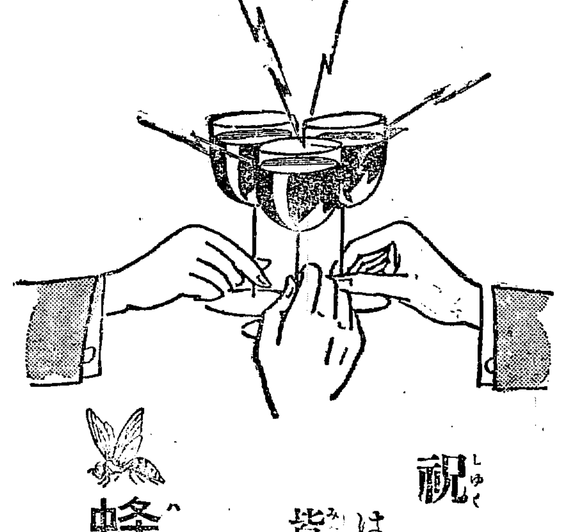
銘酒　彌生　馬山府通町　千島園釀造場　電話二〇九番

銘酒　松之色　馬山府富町　三好釀造場　電話三一四番

銘酒　大正櫻　馬山府柳町　鶴清水釀造場　電話一〇七番

銘酒　井筒正宗　馬山府都町　平井釀造場　電話一三一番

5—9



祝詞

はつ春の御慶と………

皆樣の御健康を………

美味…芳醇にして萬人の嗜好に適し
滋養…醇實にして氣力と體力を增す

蜂印香竄葡萄酒（ハチジルシコーザンワイン）

近藤利兵衛商店謹製

內科小兒科　外科花柳病　仁川宮町　松本醫院
×光線科電氣科　電話三四二番

東宮殿下御愛用の光榮ある

ホカーー液

東京神田和泉町　136　株式會社堀越嘉太郎商店

宮內省御用品
日英米佛專賣特許
池田理學博士發明

原料は小麥

味の素

販路は世界的

味の素の販路は日本ばかりでなく世界的です

家庭料理は勿論の事各國料理にも調味料として欠くべからざるものと到る所で湧くが如き好評です

使へば使ふ程お德について何に限らず立所に美味化しお手數のかゝらぬ調味料です

國家主義者團體　現內閣に辭職勸告

撮影禁止さる

請暇歸國か

南阿と露國　直接貿易開始

足がつき捕はる

戀の淀君

【百四十席】

松林伯知演
野口紅涯畫

石田治部少輔三成は淀君に對つて 治『拙者が申せし事御判りに相成らばそれにてよろしい、しからばこれにて御免をかうむります』とその座を立つた、淀君は苦笑して臥所に入りました。さて石田は我やしきに戻つて參りましたが 治『酒を持て』何時になくガブ〳〵酒を呑む、近侍が 侍『殿樣、左樣に召上つてはお體に障でございます 治『イヤ驕うな、ウームこれは一大事である、あの名古屋めがある上は淀殿は心奪はれるであらうしかなりては天下の騷動、これは何とか處置をいたさぬといけぬ、これはよい事が思ひ當たつた』とニツコリ笑つた、石田はその夜は床につき翌朝、早速近侍を招いて京都に居る山三郎の妻お國をお召しになり 治『これ國、その方は夫山三郎をいとしいとは思はぬか、イヤさほかの婦人に名古屋を姑は

れてもよいと思ひをるか 國『ハイこれは又異な お尋ね、わたくしは山三が妻、一生共に添さんと堅く約束いたして夫婦となりしもの 治『左樣であらう、それが他の婦人に奪はれることゝならば如何いたす 國『ハイ』といつたが言葉がない 治『口やしいと思ふであらうがな 國『ハイ』治『しからばこの方申し聞ける、山三め先殿淀殿が招きにて御殿に上りし時御前を籠いたしたこれ心なくして御前なぞ下さるわけはないぞ、よくこの儀承知いたせ、よつてその御前その方山三より受取りこの方が御前に持參いたせ、さなき時は容易ならざる事出來いたす、よいか國、相判つたか 國『ハイ 治『さがれッ』治部少輔は大いにお國をたきつけた、お前は捨られるぞといはぬばかりかういはれて見ると、お國もヲラ〳〵と嫉妬心が燃えあがる、石田のやしきを出たが目にはないみだがたまり自然とそれが癪にったはつて來る、ヒステリーにもなる、アー口やしいと思つた、これは御殿に上つた時にもすでに何分淀君に山三郎が心あるやうにも思はれた

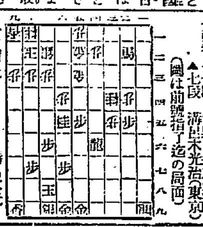
ことゝて、石田がかういはれるとなほ更腹立たしくなる、早速お國は大和大納言の邸に出まして名古屋の小屋に參りました○『お前は何だね、何、こゝのかみさんだと 國『ハイわたしは山三郎の女房でございます、國といふものですよ ○『ヘエーようございます、今取次ぎますよ……エー申し上げます國といふ御婦人が見えました 山『何だ國、何で參つた○『御用の趣は判りませんがお會ひしたいと玄關へズカ〳〵上がつて參りまして 山『驚つたな……オイ〳〵そこに立つてゐるはお國ではないか 國『ハイ、わたくしがこれへ參つては惡いのでございますか 山『オイ、お前はこゝへ喧嘩に來たのか、それとも何か用があつて來たのか、國『そんな事はどうでもようございます、わたしの夫の家、誰の家にもいらぬことゝ存じます 山『さう喧嘩に出るな 國『第一こゝにゐる人は何です、失敬千萬な 山『これは俺の仲し使ひだ、まアこれの思ひところは勘辨しろ、オイお前はこゝにゐなくともいゝ玄關へ行け○『左樣で、それでは玄關へ參りますがまア夫婦喧嘩は猫も食はぬともうしますからな、アハ……國『何だえこの人は、默つてお出で、わたしにはいふ事があつて來たんだよ、下男のくせに生意氣だよ、チヨイと前おさん 山『困るな隣近所の手前もある、まア靜にしろ、さうしてそこに立つてゐないでこれへ坐れ、話はそれからでも出來る、何も俺は逃げ隱れするわけではないから、まア氣を落付てそれから聞かう、さア茶を一杯飲みな 國『いりませんよ、馬鹿々々しい何だと思つてゐるんですよわたしはお前さんの女房ですよ、山『オイ〳〵俺は何もいつてはゐないじやアないか、まア氣をしづめてくれ、どうもヒステリーには困る 國『エ、どうせわたしはヒステリーですよ』ワツと泣く山三郎もこれには弱りました、頭をかゝへて山『あゝ女房を持つならヒステリーでない女を持つことだ、これには弱るといつてゐる。

將棋新手合（完）

於釜山幸町貳丁目 釜山棋友倶樂部

香引番△七段 矢野魁郎（釜山）
▲七段 溝呂木光治（東京）

（圖は前號指了迄の局面）



持駒（△矢野氏 銀歩三 ▲溝呂木氏 角銀桂香歩）

△四六桂▲五三桂ナル△同金▲六二角△七一銀▲五三角ナル△五九龍▲七一馬△同玉▲七二銀△同玉▲五四歩△五三玉▲四四銀迄にて溝呂木氏の勝

物理療法

帝大でも近く物理療法科は獨立するさうですがこの物理療法は熟練なる技術を以てすれば驚く程効果が現はれます、神經痛、リウマチス、病氣が澤山あります、胃腸病をや頭痛不眠症、胃酸過多病や胃腸カタル食傷冷等には最もよくきゝます藥できかぬ皮膚病に惱んでゐる方には特にこの物理療法を御すゝめ致します
何方でも代理部入口から御這入り下さい。施術時間は毎日午前九時から午後四時迄です

京城日報社代理部
電話光化門四〇〇番內廿四番

一月十二日

（舊曆十一月二十八日）
▲二黒 ▲辛酉 ▲宮神來申 ▲友引 ▲火曜 ▲建 ▲〇宿

▲二黒▲無茶苦茶なことある月總て控目にして金銀と東と南と北が吉
▼三碧▲投機的の事に手を出しては大失敗を招く日西と東と玉が吉
▼四綠▲我儘を通したがる日それでは面白く行かぬ故と乾と玉が吉
▼五黄▲外見はよくて實際は苦しい新事業は見合せ東と南と北が吉
▼六白▲縁談事なり來る日機ね吉ほど大利を占め巽と庚と玉が吉
▼七赤▲目上の引立を受ける日出し取して職いて存利巽と乾と庚が吉
▼八白▲如何に焦つても平凡に終り易い失物用心東と南と西が吉
▼九紫▲日頃の望み叶はぬといふ事なし待人は來る東と南と丙が吉
▼一白▲働き甲斐ない日縁組金錢求職其他新計劃凶西と北と庚が吉

せきづい

腰・手足・脊骨痛み又はシビレ手足引ツリ苦しきは腸筋り脊骨曲り歩行さへ出來ず藥効を得ざる方に對し稍に効驗ある藥劑無料評報す
兵庫縣明石郡林村 木本製藥所

自轉車
ドロヨケ製作
フレーム販賣
名古屋市九田町
電東五四五七 岩井製作所

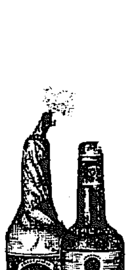
專門診療
ばい毒 よこね かんそ 毛じらみ ふき出
りん病
●急性慢性淋病、睾丸炎 ●黴毒二期、三期梅毒 ●包莖整形外科、疣疾 ●生殖器機能障害不感症 ●婦人花柳病科特設
▲血液尿檢查毎日診察
朝九時ヨリ夜九時迄
京城黃金町一丁目
仁壽堂醫院
電本一六六〇番

正 エビス印
肥料
神代鉄印
木主
賀

赤玉ポートワイン

寒さに勝ちて
美くしく
強し

寒さが來ても風邪一つひかず花やかな健康を人から羨まれる原因は何？ それこそ妾が愛用してゐるアカダマ葡萄酒のたまものです



579

三共ヴィタミンA

効力肝油の二十五倍
確正量含、良優質品
三共ヴィタミンAと御指定を乞ふ
包裝種類 50球 100球 1000球の三種あり
各地有名藥舖にて販賣す、說明書御申越次第贈呈
本社 東京室町 三共株式會社 出張所 大阪・臺北・紐育

資本金六百萬圓
明治三十八年設立

當銀行ハ預金貸金爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
頭取 韓相龍
電話長光化門八一〇番 振替口座京城二一〇五番

支店所在地 水原・平壤・大田・開城・釜山・東京・大阪
大邱・京城南大門・京城東大門・京城西大門・京城本町
出張所在地 平壤大和町

エツキス光線專門科增設

（兒童保健相談所）

イケタ內小兒科病院

京城三越吳服店前へ入る
南山町二丁目
院長 池田季
自宅 電話 病院二三四番 自宅二〇四番

洋灰鋼鐵道船舶材料其他工業諸器械 土木建築附屬品商
角野商店
釜山幸町 電話二三三番 振替京城九一番

京城府漢江通電話交換局前一丁
入院隨意
芦刈醫院
產科 婦人科 外科
電話龍山一〇九番

お顏のアレない

カテイ石鹸

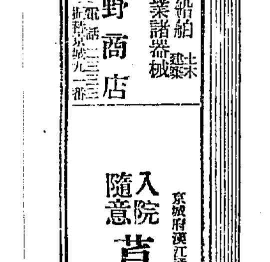
生々とした色艶と健かな皮膚の美を増すカテイ石鹸

クラブ美身クリーム

素顏の美を增し白粉の附を良くしアレ日ヤケを防ぐに特効ある

金鶴香油

現代美髮御料



金鶴ポマード

本舖 野村外吉商店

號外

一月十一日附本報々六千五百九號夕刊第二面記事が當局の忌諱に觸れ發賣を禁止せられましたから當該記事を削

東拓社債の賣行良好

利である爲め賣行き良好を豫想せられたが果して九日の市場では三十錢乃至四十錢のプレミアムを生じ

期米

（小相場）大阪三十七圓仁川三十三圓臺をのぞいたがさて此上何處まで伸びる力があるか更に前效力之れと云ふ材料はなし頗る乏しいから眼先尚ほ相場は望まれない日曜明けは同上發表の管なる政府買上げ米の成績如何によつてどう動くか分らないが之れと見て居る

株式

（氣丈）大阪市況が昨前場から後場にかけて好轉したので直に出直りと見られ何故か引いた多少の懸念が拂はれて居る、一面には買るべき程の材料でもないのと日曜控へと變戒勝ちの折柄としては寧ろ保堅の歩調とも見られ大勢の目合である

【平壤電報】平安南道江西郡城巖面六里六二四史宗秀方に四日午後十一時頃一名の壯漢が忍び入り熟睡中に眠りせと脅かしつけ懷中から小刀および神ぜら隙のものを取だし汝はこれを知れるやと一喝し史のひるむの他時價二十圓余を強奪して逃走した屆出でに接した江西署では嚴々たる警察事件に緊張し犯人を搜